

2026. 5. 25

伊賀市夢のある農業振興計画策定タウンミーティング実施概要（案）

1. 目的

市の将来の農業振興の目標や基本方針を明確にし、その実現に向けて取り組む方策を示す「伊賀市夢のある農業振興計画」の策定を進めている。当該計画の中間案について、地域住民、消費者、農業者、行政、農業関係団体等さまざまな立場の方が集い、意見交換を行う。

2. 対象者

伊賀市に在住・在勤・在学の方、伊賀市に関わりのある方

3. 開催日時

令和8年7月11日（土） 午後2時30分～午後4時30分

4. 開催場所

伊賀市ゆめぼりすセンター 2階大会議室（伊賀市ゆめが丘1丁目1-4）

5. 内容

グループ（7～8人×5～7グループ）に分かれ、「伊賀市夢のある農業振興計画中間案」についてワークショップ形式で意見交換を行う。

※ファシリテーター：2名（伊賀市夢のある農業振興計画策定委員、株式会社フジヤマ各1名）、参加者：5～6名

6. 当日の流れ（予定）

時刻	時間	内容
14:00	30分	参加者受付
14:30	5分	開会の挨拶（市長）
14:35	15分	「伊賀市夢のある農業振興計画」について（野中委員長より説明）
14:50	70分	ワークショップ（以下、株式会社フジヤマにより進行）
16:00	21分	グループ発表・共有（5～7グループ×3～4分）
16:21	5分	まとめ（野中委員長より講評）
16:26	3分	閉会の挨拶

7. 参加費

無料

8. 参加募集人数

50人まで ※参加申込者多数の場合は先着順

9. 申し込み方法

申し込みフォーム、電子メール、電話、FAXでの申し込み

10. 申込期間

令和8年6月8日（月）午前9時から令和8年6月26日（金）午後5時まで

タウンミーティングワークショップ（案）

1. 目的

「伊賀市夢のある農業振興計画」に掲げる将来像の実現に対して、様々な立場の市民との意見交換を行う。市民からの意見と、現在検討している基本方針や各種方策との整合性を確認し、計画書案へ反映する。

2. ワークショップの手法

- ①各グループのテーブルに、白紙（A0判程度）、付箋紙（7cm×7cm程度）、ペンを準備する。
- ②参加者は、テーマに対する意見等を付箋紙に書き、書いた内容をグループのメンバーに説明しながらA0白紙に貼る。
- ③意見が概ね出揃ったら、似た意見同士をグルーピングし、視覚的に分かりやすく整理する。

3. 意見交換内容

（1）ワークショップの説明（3分）

ワークショップ手法の説明を行う。

*ワークショップ手法:意見の出し方(意見を書いた付箋紙をA0白紙に貼る)、
注意点(他人の意見の否定はしない) など

（2）ワークショップ（50分）

①アイスブレイク：テーマ①「伊賀市の好きなところ」（10分）

②ワークショップ：テーマ②「将来像実現のために必要な取り組み」（40分）

*時間配分などは、各グループの協議進捗を踏まえ、ファシリテーターが適宜調整する。

① アイスブレイク

グループでの議論活発化のため、ワークショップに入る前にアイスブレイクを行う。テーマは上述の「伊賀市の好きなところ」を基本に、グループごとの参加者の属性によって、適宜変更する。

② ワークショップ

ワークショップでは、計画概要版（表面）を参考に、将来像実現のために、参加者が必要だと思う取り組みについて、意見を出してもらおう。参加者からひと通り意見が出たら、計画概要版（裏面）の個別施策を提示し、特に必要と思う施策を各々3つ選んでもらう。選んだ施策をグループ内で共有し、グループとして「将来像実現のために必要な施策」を3つ選ぶ。

将来像に対しての意見が参加者から出にくいようであれば、計画概要版（裏面）の個別施策を提示し、現在検討中の基本施策・個別施策に対する意見を聞く。

(3) グループ発表・共有 (7グループ×3分=21分)

各グループで議論したテーマ②の内容について、付箋紙を整理したA0模造紙を見せながら他グループと共有する。発表者は、当事者意識醸成の観点より、ファシリテーターではなく参加者が行うことが望ましい。